



# 学ぼう 語ろう つながろう

## 定員に達しましたので、参加申し込みを締め切りました。

大変申し訳ありませんが、当日は、事前申し込みをされた方以外の参加はできません。ご了承ください。(なお、学習会の内容や参加者の声などを後日ホームページにアップ致しますので、よろしければご覧ください。)

小郡市では、教育委員会主催で「不登校を考える学習会」を行っています。不登校の子どもをもつ保護者の方々に企画から加わってもらい、学習会の内容を一緒に考えています。不登校の子どもたちをまわりの大人がどのように見守ればいいのかといった視点を大切にしながら、悩みを共有し、子どもと保護者がほっとして元気になっていくといいなと思います。どなたでも参加できる学習会です。本来であれば、事前申し込みなしで気軽に参加していただきたいのですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、今回は事前申し込み制とさせていただきます。 ※ 当日はマスクの着用をお願い致します。

講師：福岡女学院大学 人間関係学部 心理学科 教授（臨床心理士・公認心理師）

おおさこ ひでき

大迫 秀樹 さん



大迫秀樹さんは、大学で心理学を修め、警察科学捜査研究所にて科学捜査業務に携わられました。その後、福岡県庁に児童福祉職として入職し、児童福祉施設や児童相談所等の現場で、福祉・心理職として勤務されました。

現在、福岡女学院大学での教育活動の他、乳幼児のこころとことばの発達相談、子どもと家庭の実務相談（児童家庭支援センター）、更生保護施設での立ち直り支援にもあたっておられます。

第1回学習会 7月17日(土) 14:00～（受付は13:30～）

テーマ：子どもの心の健やかな成長のために心がけたい大事なポイント～相談・援助事例から考える心理的な理解と対応～

### 【お話の内容について】

- 今回の学習会では、① 発達障がいについてのとらえ、② 心理的な援助の基本（気持ちの受け止め）、③ 思春期の子どもの特徴の3点を中心に話していただきます。

子どもが本人の言葉で語ることがなぜ大切なのか、思春期の子どもとどう接したらいいのかについて、児童相談所や児童福祉・更生保護施設での相談や面談の経験から話されます。そして、良かれと思っていることが子どものためになっているのかどうかや、しつけの本来の意味などについても、面談事例や心理的な視点から話していただきます。

また、教育の場でどんな福祉的な視点を持てばいいのか等、教育関係者の方にも参考になるお話です。時間の流れが速い世の中ですが、一緒に立ち止まって考えてみませんか。

会 場：小郡市人権教育啓発センター 大集会室

(小郡郵便局南側 小郡市小郡296) 会場TEL：0942-80-1080 (直通)

問い合わせ先

主催：小郡市教育委員会 人権・同和教育課

Tel：0942-72-2111 FAX：0942-72-2132

